

# 面影地区自治会だより 第20号

平成30年3月15日

## 自治会長就任にあたって

面影地区自治会長 稲田 宗万

### ＝みんなで支えあう面影＝

陽春の候、面影地区の皆さまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、平成30年面影地区自治会代議員総会席上で自治会長の重任を仰せつかりました。

前任の須崎宏喜会長の後任としてその任にふさわしいのかどうか、自問自答していますが、精一杯務めさせていただきますので皆さまの力強いお力添えをお願い申し上げます。

さて、ご承知のように国内では少子高齢化が一層進展し、現在の人口割合でいくと4人に1人が65歳以上の超高齢化社会となっていることが民間の研究機関で報告されています。私たちの面影地区もそうした波が押し寄せてきており、15町内を俯瞰してみると、若い世代の方を中心に住宅の建築があちこちで見られる一方で、高齢者のお一人住まい家庭やお二人家庭の増加、さらに空き家の増加などに伴い、地域のコミュニティを保つことが一層困難となることが予想されます。

こうした現状を踏まえて各町内では、集会所の整備や納涼祭の実施等、お年寄りから子どもたちまで参加できる場所や催しを通じ、独自に活動の輪を広げることで町内会の絆を深めるなど、地域の活性化を図っておられます。

私ども自治会といたしましても、こうした現状を踏まえて従来から「地域コミュニティの活性化」を図るべくさまざまな取り組みを行ってきました。

その一つは、災害などの非常時にお互いを助け合うという共助に基づいた支援対象の方々への援助制度の充実、また、町内間の交流事業としてグランドゴルフ大会の開催、さらに世代間の交流事業として中学生の地域行事への参加などを通じて地域力の充実強化を図ってきました。本年もこうした果実をさらに花咲かせるため活動してまいります。

当地区には、前段の人口構成などによる諸課題や、防犯、防災、環境など、解決しなければならない事柄が山積しています。

今後においても地域力の強化を一層推進するため、区長会・青少年育成協議会・体育会・まちづくり協議会・民生協議会・多聞の会など各種団体の皆さまはもとより、学校・公民館の皆さまと手を携えて歩んでまいりたいと考えています。

この一年「みんなで支えあう面影」をさらに推進しましょう。

どうぞよろしく願いいたします。

## 「退任のごあいさつ」

前面影地区自治会長 須崎 宏喜

先の自治会代議員会をもって、会長を退くことになりました。在任中は皆さまの温かいご支援とご協力により、自治会活動を遂行できましたことを心より厚くお礼申し上げます。

面影地区を安心・安全で「住んで見たいまち、住んで良かったまち面影」を目標に各行事を展開してまいりました。

自治会運営及び各行事の展開にあたり、地区の皆さまは勿論、区長会・各種団体のご理解ご協力に対して改めて感謝とお礼を申し上げます。

昨年は年はじめに大豪雪に見舞われ、交通機関の乱れ等大変なスタートとなりましたが、社会経済は株価の上昇・就職の改善・東京オリンピック決定等明るく景気の良いニュースもありました。しかし、地方にはその実感はなく、核家族が進みその上少子高齢化が加わり、人と人との絆が薄れる中、その解消と歯止めのため、各行事を展開してまいりました。

今年度新体制の中、災害のない明るい出来事一杯の一年で有りますことを願い、昨年の実施事業について報告させていただきます。

### 《面影地区自治会の主な出来事を振り返って》

#### 1. 「避難行動要支援者支援制度」の充実について

鳥取市において平成18年3月に「災害時要援護者支援制度」が創設され、その後当地区においては平成23年支援制度を立ち上げ、以後毎年区長会を中心に対応してきました。平成26年4月災害対策基本法の改正により、要支援者の対象範囲が追加（要介護認定3～5級）され「避難行動要支援者支援制度」に名称変更されました。

年始め要援護者の対象リストを市（障がい福祉課）が作成しそのリストにより従来通りの対応をしますが、対象者の追加整理のため対象リストの作成が遅れ平成28年の下期新対象者リストができ、このリストにもとづき平成29年8月末登録作業を完了し平成29年末面影地区の「避難行動要支援者」は「367名」の方が登録されました。

平成30年も新対象者リストにより引き続き登録者の現行化作業を実施するとともに現登録者の日々の見守りを強化し、災害時等に備えていきたいと思っております。

#### 2. 平成29年（平成30年実施）各町区の

鳥取市に対する要望事項及び以前の要望事項進捗状況について

要望事項は次年度の実施事項として提出するもので、毎年9月頃各町区の要望事項を自治会で取りまとめ地区要望として提出します。

##### 2-1. 平成29年（H30年実施）要望事項（17件）について

雲山：2件 パークタウン：2件 桜谷：1件 桜谷団地：2件  
大杓一：2件 東今在家：3件 正連寺：2件 面影一：3件

- ①町内市道の一部に側溝新設（雲山）
- ②町内用水路の三方コンクリート化（雲山）
- ③町内市道の側溝の修理（パークタウン）
- ④町内市道接続階段の手すり設置（パークタウン）
- ⑤県道奥谷～正連寺線歩道側溝に蓋（グレーチング蓋）の設置（桜谷）
- ⑥町道市道三叉路にカーブミラー増設（桜谷団地）

- ⑦仲代川の定期的清掃と護岸ブロックの修理（桜谷団地）
- ⑧町内用水路の汚泥ゴミの撤去（大杵一）
- ⑨町内通学路上の交通指示表示の整備（大杵一）
- ⑩町内市道一部のガードレール新設（東今在家）
- ⑪町内市道一部補修（東今在家）
- ⑫県道と町内市道の三叉路にカーブミラー新設（東今在家）
- ⑬町内の通勤・通学路に交通指示道路標示の実施（正連寺）
- ⑭用水路側道のコンクリート化の実施（正連寺）
- ⑮町内市道の補修（面影一）
- ⑯町内市道（大杵～正連寺線）の周辺清掃（面影一）
- ⑰町内市道（大杵～正連寺線）の交通指示道路標示の整備（面影一）

## 2-2. 平成29年度以前の要望事項の進捗状況について

- ①町内市道一時停止規制表示の補修（H28年実施 新桜谷団地 H26年要）
- ②用水路護岸整備（H29年3月実施 正連寺H29年要）
- ③町内急傾斜地の対策  
（H28年事業化検討のため調査実施30年度事業化検討中 面影一H27年要）
- ④町内通学路に横断歩道表示の新設  
（西側に歩行者の滞留スペースが取れないため新設は無理 面影一 H29年要）
- ⑤災害時避難所間（桜ヶ丘中学校～地区公民館）の通路確保  
（学校の安全等考慮し通路の新設は出来ない 面影地区 H29年要）

## 3. 面影地区防災（避難）訓練実施について

毎年地区において防災訓練を実施してきたが、今年は（平成29年9月10日（日））鳥取市総合防災訓練会場が面影地区（面影小学校）に指定されたため鳥取市主催の防災訓練に参加した。

### ※防災（避難）訓練の目的

大規模地震等大災害が発生した場合を想定し、初動の措置として住民による「避難所開設」要項を習得するとともに、地域における被災状況・住民の安否情報等の把握に努め、市をはじめとする防災機関との連携を努めることを目的とする。

### ※参加町区

災害時小学校が避難場所に指定されている町区がメイン参加し、その他の町区は訓練の見学者として参加しました。

- ・メイン参加町区：新・新南・雲山・大杵一・大杵二・面影一・面影二 7地区
- ・見学参加町区：メイン参加以外の8町区

次年度（H30年）は、鳥取市総合防災訓練を参考に充実した地区防災訓練を実施したい。

### ※防災用資機材等の備蓄状況

- ・防犯防災用差し替えベスト（オレンジ）・・・・・・30着購入
- ・非常食・・・・・・山菜おこわ等2種類の500食確保  
（一部H30年早々に賞味期限切れの補充必要）ほか

## 4. 面影地区慰霊祭について

例年通り4月8日（土）忠魂碑広場において、地区出身戦死者86柱の御霊に対して現在の平和と発展は御霊の犠牲の上にあることを思い二度と悲惨な戦争を繰り返さないよう後世に伝えることを誓い合って、慰霊祭終了後雲山公民館において英霊を偲ぶ会を行いました。

なお、慰霊祭の主賓であるお遺族の高齢化により、出席しづらくなっており今後の問題として対応していきたい。

## 5. 面影地区グラウンドゴルフ大会の実施について

「絆」の薄れる社会環境の中「まちづくり協議会」の支援を受け、絆の強化と健康増進のため年2回（春・秋）個人・町区対抗グラウンドゴルフ大会も今年で3年目を迎え、皆さまに大会主旨をご理解頂き、毎年100名を超える参加が定着し盛大に開催できた。

- ・春の優勝校区：桜谷団地（新南の3連覇を阻んだ。）
- ・秋の優勝校区：新南（普段の練習成果により、返り咲き優勝）

## 6. 中学生との「地域まちづくり対話会」の実施について

自治会活動方針の一つに、「地域の子どもは、地域で見守り地域で育む」に基づき、各事業に中学生の参加をお願いし、中学生の地域への関心を高めるため努めてきた。またより関わりを強めるため「まちづくり協議会」の支援により、自治会と中学生との対話会を実施した。年2回の実施を計画したが中学生との時間が調整出来ず、今年は1回の実施となった。

※参加人数：自治会12名・中学生25名・保護者8名  
次年度は年2回の実施と実施方法について検討し対話会の定着化を図りたい。

## 7. 面影山（遊歩道周辺）及び忠魂碑広場の清掃について

毎年恒例の清掃は「自治会・区長会・まちづくり協議会・公民館」の協働作業として実施してきたが、今年は地域住民の皆さまに声をかけ5～6名の賛同を得て楽しく作業をすることが出来た。

今後、より多くの住民の参加による事業にしていきたいと思う。

## 8. その他面影地区自治会定例事業について

「地域の子どもは、地域で見守り育む」の方針にそって、中学生との地域との関わりを強くする為、中学生が下記事業に役員等協力参加により、盛大に開催することが出来た。

- ・地区大運動会： 5月14日（日）
- ・地区夏まつり： 8月 5日（土）
- ・地区敬老会： 10月 1日（日）



大運動会



夏まつり



敬老会

今後も各事業に多くの子どもたちが参加することで、子どもと地域との関わりが強化されるものと思っている。

以上今年度（平成29年）の事業報告といたします。

平成30年が皆さんにとって素晴らしい年でありますように祈念すると共に、面影地区が昨年以上に「飛躍の年」として、安心・安全で「住んで見たいまち・住んで良かったまち面影」に向けた「まちづくり」を目指します。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。